人権尊重のまちづくり審議会資料

八個寺主ののファイラ田成五兵行	
豊川	みんなのお泊り訓練の実施
令和2年	【目的】
度事業の	・地域における災害時の課題を捉え、地域で共有する。
方向性	・災害時要支援者の洗い出しとともに、課題を抱えている方は日常の相談につなげる。
(背景、	・防災訓練を通じて、愛センターを知ってもらい、日ごろから利用していただくきっかけとする。
課題、目	【対象】
的、対象、	地域住民(特に地域に暮らす災害時要支援者、ex.高齢者・障害者・外国人・ペット連れ)
事業内容	【事業内容】
など)	・地域組織、地域住民と一緒に夜間避難訓練・宿泊避難所運営訓練を行う。
	・訓練は、各世帯で作成いただく個別避難計画をベースに、事前に参加メンバーと計画を立て、共有し、実践する。
	・事前研修、振り返りを行い、各自の気づきを蓄積する。
	・地域への報告会を実施し、地域と経験を共有する。(総持寺でも実施。)

H30年度

R1年度

R2-4年度

みんなの防災訓練

セーフティーネット会議の枠組みで実施

目的 ①災害のリスクを知ること

②避難所、避難経路を知ること・ 考えること

③避難者を知ること

→顔の見える関係づくり

H31.3.6 事前研修

- ・講義 誰ひとり取り残さない防災 人と防災未来センター 松川主任研究員
- 調整会議
- ①エコマップづくり、②訓練調整
- 振り返り
- ①本日の気づき・感想、②講評

H31.3.25 防災訓練実施

- ブリーフィング(訓練の最終確認)
- シェイクアウト訓練
- 個別避難計画に基づく避難訓練
- 避難所設営訓練
- 振り返り

高齢者・障害者を対象に 個別避難計画の作成を試行 豊川まちづくり地域協議会主催防災訓練 於 豊川小学校

R2.1.19実施

H31.4より防災訓練実行委員会を立ち上げ 企画

進め方

- ①災害のリスクを知る。
- ②必要な備えを検討する。
- ③自助・互助・公助いずれで行うべき かを整理する。
- ④互助・公助に頼りたい部分について、 避難所運営者や他の避難者と共有し、 方策を検討する。

く今後の展開>

豊川小学校区の各避難所で

随時実施

(CSW、民生委員主体で)

→実施に向けて地域と調整中

外国人

みんなのお泊り訓練

豊川 10月、総持寺 11月 沢良官 R3年度 実施予定

事前研修①

- ・講義 災害のリスクを知る
- ・説明 個別避難計画の作成レク
- 避難所内覧

事前研修②

- 個別避難計画の共有
- 調整会議

訓練実施

- ・ブリーフィング (訓練の最終確認)
- シェイクアウト訓練
- ・ 個別避難計画に基づく避難訓練
- 避難所設営 運営訓練
- 振り返り

報告会(地域や小中学校にて)

を 個別避難計画に基づき 夜間避難、宿泊訓練を試行